

じどうしつだより No. 79 (2012. 4発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだえほん

本の情報	内容
<p>『トントンをまみましょう』</p> <p>あまんきみこ作 鎌田暢子絵 ひさかたチャイルド 2011.12</p> <p>1110305638</p>	<p>ゆうがたからゆきがふりだしたのをみて、「こんやはいそがしくなるわ」と、大きなおなべであまざけづくりをはじめたおかあさん。「こんなにいっぱいのおまざけ、だれがのむの？」とみこちゃんがきいたとき、トントントンとげんかんのドアをたたくおとが…。ドアをあけると、きいろいふくをきたこどもたちがうれしそうにはいってきました。</p>
<p>『パンケーキをたべるサイなんていない?』</p> <p>アンナ・ケンプぶん サラ・オギルヴィーえ BL出版 2011.12</p> <p>1110301684</p>	<p>デイジーが朝ごはんをたべていると、大きなむらさきいろのサイが台所へ入ってきて、パンケーキを食べてしまいました。ママとパパに話そうとしてもいそがしくて聞いてくれません。サイくんと話をしてみたら、どうも家族のところへ帰りたいみたい。でもデイジーにはよい方法が思いつきません。次の朝、動物園のサイのおりで行方不明の張り紙を見たママとパパ。ようやくサイくんに気がつきます。</p>
<p>『おばあちゃんと花のてぶくろ』</p> <p>セシル・カステルッチ作 ジュリア・ディノス絵 文溪堂 2011.10</p> <p>1110289759</p>	<p>あたしのおばあちゃんは、花をそだてるのがじょうず。いつも花もようのてぶくろをはめて、楽しそうに庭仕事をしていた。おばあちゃんはあたしに庭のことをいろいろと教えてくれた。そして、あたしのことを「いちばんだいじな花」と言ってくれていた。そんな大好きなおばあちゃんが病気になって、ママのこともあたしのこともわからなくなってしまった。</p>
<p>『おにのおにぎりや』</p> <p>ちばみなこ[作]</p> <p>偕成社 2012.1</p> <p>1110319123</p>	<p>おなかですいたおにのきょうだい。おべんとうのおにぎりをたべながら、「おにぎりって「おに」がつくからおいしいんだ。」「いや、「おに」がつくるからおいしいんだ。」と話していました。すると、おにぎりがつくりたくなってきて、おいしいものをあつめてたくさんのおにぎりをつくりました。おみせやさんみたいになったので、きょうだいがおにぎりをもってでかけると…。</p>
<p>『ええところ』</p> <p>くすのきしげのり作 ふるしょうようこ絵</p> <p>学研教育出版 2012.1</p> <p>1110324419</p>	<p>わたしって、せはひくいし、はしるのもおそいし、「ええところ」なんかひとつもない。ともちゃんにそう言ったら、ひと晩考えて、わたしのええところを見つけてくれた。わたしがクラスでいちばん手があったかいんだって。でも、みんなの冷たい手をあつためているうちに、わたしの手は冷たくなって、あつというまにええところがなくなってしまった。悲しむわたしに、ともちゃんは「もっとええところみつけたよ」って…。やさしい気持ちにつつまれます。</p>
<p>『ピートのスケートレース 第二次世界大戦下のオランダで』</p> <p>ルイーズ・ボーデン作 ニキ・ダリー絵 福音館書店 2011.11</p> <p>1110285400</p>	<p>第二次世界大戦のさなかのオランダ。10才の少年ピートの夢は、強くて勇敢なスケーターになることでした。ある日、おじいちゃんから、ドイツ兵に狙われて危険のせまるウィンケルマン家の姉弟をベルギーのおばさんの家まで無事に送り届けることをまかされました。ピートたちは不安や恐怖を抱えながら、凍った運河の上をすべりだしました。</p>